



カンサイタンホホ

建設情報誌

C-net通信

Vol.570

さが

『C-net通信』で

2022年4月13日
(毎週水曜日発行)

<http://www.nsci.co.jp>

発行所：(株) NSC 佐賀市日の出1丁目 16-19

TEL 0952・97・9643 FAX 0952・97・9647

日本建設技術グループ

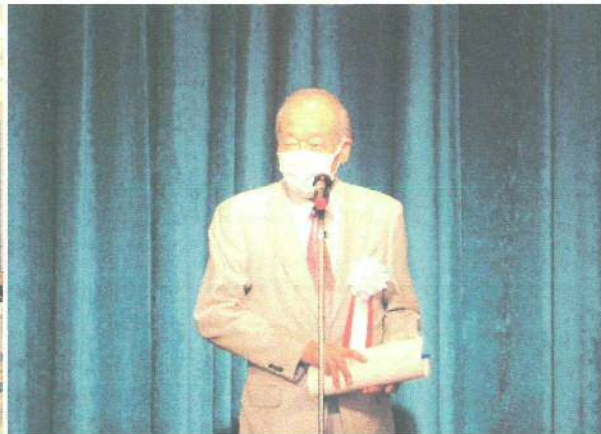
研究成果発表会を開催

原社長 佐賀県に欠かせない会社

日本建設技術(株) (原裕社長) グループは9日、唐津市の唐津シーサイドホテルで2022年度(第18回)研究成果発表会を開催した。同社やグループ会社の社員、来賓を含め約160人が参加。防災とグリーン社会への取り組み、路面の温度を低下させるFWG・透保水性舗装の試験施工、地すべり対策工事に関する報告、グループ会社で大きな業務成果を上げた功労者の表彰などが行われた。



研究成果発表会



あいさつする原裕社長

冒頭、原社長は「良い人脈づくりやグループ会社同士の横の連携に取り組み、佐賀県に欠かせない会社となるよう、スマートな会社づくりを目指していく」とあいさつ。来賓の古川康衆議院議員、大場芳博県議会議員、峰達郎唐津市長らが祝辞を述べた。

成果発表では、原社長が昨年1年間のあゆみを紹介するとともに「防災とグリーン社会」と題して講演を行い、地球温暖化による気候変動で豪雨災害が頻発していることに触れ、斜面防災事業や盛土メンテナンスの重要性を指摘。吸水性が高く軽量のミラクルソルを盛土造成に用いるFWG盛土造成・排水工法の有効性を説明した。

続いて企画開発戦略本部技術研究所の落合一明課長が「高木瀬ふれあい公園におけるFWG・透保水性舗装の温度測定結果」、建設&コンサルタント事業本部建設第3課の石原誠太郎課長が「成瀬地区地すべり対策工事」の成果発表を行った。

講評した加藤合同国際特許事務所の加藤久所長は「長い目でみればSDGs対策や温暖化対策は会社を救う柱になる。今後も研究開発を継続してほしい」と語った。

この後、同社やグループ会社で大きな業務成果を上げた功労者ら52人の表彰、新入社員の紹介も行われた。

【4月12日HP掲載】